

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 にじのかけら			
○保護者評価実施期間	R8年2月10日		～	R8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	R8年2月10日		～	R8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	R8年2月10日		～	R8年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	対象児童が放課後等デイサービスにじのかけらを利用している為、保護者と送迎時や連絡帳、LINEなどを利用して児童の情報共有を密にできている。保育所等訪問支援にて学校へ伺った時の様子も併せて積極的にお伝えしている。	保育所等訪問支援の質を高めるべく職員の研修体制の見直し、外部研修への積極的な参加を促す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供の充実	ペアレントトレーニングを行える専門知識を持つ職員が少ない。外部研修や研修を行う事が出来る専門機関との関係性がまだ十分に構築できていない。 また、研修などの情報提供は行うことは可能だが、保護者がどのような内容の研修を必要としているか、また、そもそもそのような機会を必要としているかを把握する事が難しい。	ペアレントトレーニングを行える人材の育成が必要。 内部の職員以外にも研修を行える機関との関係性を強化していく。